

2026年4月鶴岡市役所にて紺綬褒章伝達式、鶴岡高専技術振興会への寄付に対する感謝状贈呈式が行われました。  
庄内での人材育成支援を目的に寄付し、地域活性化に貢献してまいります。



左:紺綬褒章を手にする成田代表取締役社長 中央:佐藤聡鶴岡市長 右:小玉取締役生産本部長

2026.04.19 付 山形新聞

### 人材育成向け寄付 紺綬褒章の伝達式 横浜のシンクロン

企業版ふるさと納税で鶴岡市に2千万円を寄付し、紺綬褒章を受けた精密機会製造のシンクロン(横浜市、成田正哉社長)への伝達式と、鶴岡市への新たな寄付500万円に対する感謝状の贈呈式が17日、市役所で行われた。

鶴岡市に工場を置く同社は、カメラレンズやタブレットの液晶に使われる反射防止膜などを形成する装置の製造販売を手がける。市内で就職する学生や若者のために役立ててもらおうと、2024年度に市の奨学金返済支援事業に2千万円、25年度には鶴岡高専技術振興会事業に500万円を寄せた。

佐藤聡市長が褒状と感謝上を手渡し、「寄付金を活用し、地域活性化に取り組みたい」とあいさつ。成田社長は「多くの鶴岡出身者が、社内で設計や開発の技術を発揮し活躍している。新たな人材育成に使ってほしい」と話した。

2026.04.19 付 荘内日報

## 鶴岡高専の人材育成支援 シンクロンの寄付に感謝状 鶴岡市へ企業版ふるさと納税寄付も

産業用機械器具製造業のシンクロン(本社・横浜市、成田正哉社長)の鶴岡高専技術振興会(会長・佐藤聡鶴岡市長)への寄付に対する感謝状贈呈式が17日、鶴岡市役所で行われた。

贈呈式には成田社長など同社役員が出席。成田社長が佐藤市長へ贈呈目録を手渡し、佐藤市長が「地域内事業の高度化及び企業活性化支援事業のため多額の寄付をされ、本市が行う地方創生の取り組みへ多いに寄与した」と述べ感謝状を贈った。

成田社長は「弊社鶴岡工場の開設以来、鶴岡高専を卒業した優秀な人材が多く入社して庄内や国内外で活躍している。今後も庄内での人材育成が重要であり、寄付を継続していければ」と話した。今回の寄付額は500万円で、今年3月に鶴岡高専技術振興会へ贈呈済という。

席上、同市の2024年度奨学金返済支援事業へシンクロンが寄付した功績により、昨年12月に国から授与された紺綬褒章の伝達も行われた。同社は鶴岡市の若者回帰制度へ貢献しようと企業版ふるさと納税制度を活用し、同事業に2000万円を寄付した。

※シンクロンは1951年設立。真空を用いた薄膜形成装置の設計・製造・販売・技術サービスに取り組んでおり、光学やディスプレイ、電子部品などさまざまな分野の顧客を国内外に持つ。1989年、鶴岡市宝田一丁目に鶴岡工場を開設した。